

日本労働年鑑 第57集 1987年版  
The Labour Year Book of Japan 1987

第四部 労働組合と政治・社会運動

III 政党の動向

3 日本社会党

6 国際活動

社会党代表団の派遣

八五年七月から八六年一二月にかけて、社会党が代表団を送ったおもな国はソ連、東欧、北朝鮮、中国、フィリピン、大洋州など一〇数カ国に及び、地方組織からの代表団を含めて、北朝鮮へは一二回、ソ連へは九回、中国へは六回、フィリピンへは三回、代表団が派遣された。

新韓民主党代表団の来日

八五年十一月一八日、韓国の第一野党・新韓民主党は日本社会党との交流のために訪日する予定だった代表団の派遣をいったん保留することを決定した。これは独自に社会党との接触を狙っていた韓国政府・与党の頭越し交流であったこともあって、韓国外務省が「社会党はまだ韓国政府を認めていない」として慎重対処を求め、党内非主流や与党も同じ理由で反発して政治問題化したためである。しかし、「新宣言」採択後の八六年四月二七～二九日、金東英院内総務を団長とする新韓民主党代表団が来日し、社会党との交流を深めた。

日本労働年鑑 第57集 1987年版

発行 1987年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1987年版(第57集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)